



発 行 者
いわき市平字桜町 5
福島県立磐城桜が丘高等学校
同 窓 会
会 長 坂 本 洋 子
題 字
石川美子(高女33回)
印 刷 所
八幡印刷株式会社



桜丘会報第二十一号

発行によせて

同窓会長 坂本洋子

同窓会の皆様には、ますます
すご清栄のこととお慶び申し
上げます。平成三十年四月
二十九日、第百六回総会にお
いて、会長を拝命致しました
坂本洋子です。よろしくお願

いいたします。
同窓生の思いを繋いだ、二
年に一度の同窓会報を発刊出
来ました事は、誠に喜ばしい
事だと思えます。

平成三十年は、天皇の退位、

平成三十年四月より本校
三十四代校長として着任しま
した。伝統ある本校に着任し、
その重責を感じております。
どうぞよろしくお願いいたし
ます。

る多大なる御支援をいただい
ていること、誠にありがとうございます。
ごさいます。

現在本校には、百本を超え
る桜の木があります。幹回り



桜の年輪

学校長 比佐 功

本校は、明治三十七年磐城
女学校開校以来百十四年が経
とうとしています。これまで、
三万五千名を超える同窓生を
輩出してまいりました。多く
の同窓生が、社会の各方面で
活躍されていること、誠に喜
びに堪えません。そして、こ
れまで同窓生より母校に対す

が二メートルを超えるような
堂々とした古木から、五十セ
ンチメートルに満たないよう
な若い木まで様々です。それ
らは、多くの同窓生の青春時

桜、退職者や東日本大震災か
らの復興を祈念して東京・東
海支部から送られた桜、創立
百周年を記念していただいた
桜もあります。大切にし、次

年号の変更が決まる等、節目
となる年でした。

また、「石城国―いわきの
くに」(菊多(勿来)の関か
ら宮城県南部(亘理)までの
浜通り地方を指す)の名が
『続日本紀』中で、養老二年
(七一八年)五月二日に記さ
れてから千三百年、そして、
戊辰戦争から百五十年にあた
る年でもありました。

古に思いを巡らす一方、未
来へと続く歴史を築くことの
重さを感じているところでご
さいます。

同窓会としては、本年度総

会で三役も新任となり、新た
に顧問を設け、前会長に就任
していただきました。学校も
校長先生、事務長、PTA会
長も新任となり、どちらも新
体制でのスタートとなった一
年でした。

同窓会の活性化を図るべ
く、三人の副会長を、総会担
当薄葉フミ子(高校15回)、
維持会費担当菅波八重子(高
校20回)、会報担当井戸川保
子(高校25回)に分け、校外
理事も役割分担致しました。

会報発行にあたりまして
は、役員全員に加え、高校28

代の本校生を見守ってくれる
ようにしたいと思っています。

本日、様々な成果を新た
な年輪として刻んでくれた
二百六十八名の卒業生が巣立
ち、同窓生の仲間入りをしま
した。そして、本年は平成か
ら新たな年号となり、百十五
年の年輪を刻みます。今年も
多くのことに本校生がチャレ
ンジし成果を上げてくれると
思います。

桜や桜丘会館、公開文化祭
などを見に、母校へ是非足を
運んでみてください。

回・29回の有志の方々にご協
力いただきました。

形式も、先輩からのご意見
に基づき協議した結果、A4
判に変更し、手に取り易くな
りました。

会報が、自分の中の大切な
人に語り掛けられるものとな
り、身近な存在となりますよ
う、同窓生の皆様からのたく
さんの活動報告をお待ちして
おりますので、学校または役
員までご一報賜れば幸いです。
できる人が、できる事を
できる時に…をモットーに、
人と人との繋がりが、途切れ
ることなく続く会報であるこ
とを願っております。



支 部 ・ 方 部 だ よ り

仙 台 和 や か に 語 り 合 っ
ひ と と き

支部長 古市 敏子 (高校17回)

今年度の支部総会は、平成三十年六月二十六日、仙台の繁華街一番町にある和食の店「せんこま」に於て、十八名の出席で開催されました。当日体調をくずして欠席する方がいらつしやる一方、嬉しい事に体調が戻り、久し振りに参加して下さる方、また初参加の方が三名いらつしやいました。今年は役員改選があり、長い間支部長を務めて下さった加藤翠子さん (高校17回) が顧問に、副支部長に秋山久美子さん (高校19回)、支



部長は古市が引き受ける事となりました。総会に引き続き、櫻井典子さん (高校12回) の乾杯ご発声により懇親会へと移りました。次々に運ばれて来る料理に感動し、お店の厚意により大幅に時間を延長して、おしゃべりに花を咲かせました。校歌斉唱の後、再会を約束して散会致しました。

福 島 元 学 校 長 守 谷 早 苗
先 生 を お 迎 え し て

支部庶務 手塚 優子 (高校30回)

第五十五回福島桜丘会総会及び懇親会を、平成三十年六月三日に開催致しました。

以前、母校訪問でお世話になった元学校長守谷早苗先生に「福島の戊辰戦争〜大藩の狭間で揺れ動く小藩の悲哀」という演題で、ご講演頂きました。また、懇親会では同窓会のプロジェクトで完成した「母校の歴史」のDVDを上映しました。なつかしい映像の数々に皆、歓声をあげ、会話も大変盛り上がりしました。

九月三日には、戊辰戦争で新政府軍の拠点が置かれた福島市の長楽寺で開かれていた展示会へのツアーも企画し、歴女会員たちが当時の地図や資料を見ながら、再び守谷先生の詳しいお話を聴くことができました。

今後とも人や地域との絆を大切に活動したいと思っています。

津 時 を 忘 れ て 思 い 出
会 を 語 り 合 っ

遠藤 亮子 (高校34回)

平成二十九年九月三十日 (土)、会津若松市の老舗割烹料亭「萬花楼」にて、第三十四回会津磐女桜丘会が開催されました。出席者は十二名でした。

今回をもって、平成十四年

郡 山 毎 年 ラ ン チ 会 で
顔 合 わ せ

支部長 齊藤 悦子 (高校17回)

郡山磐女会は、昭和四十五



から十六年間、会長としてこの会のためにご活躍された遠山美沙子さん (高校8回) が退任されることとなり、高橋久美子さん (高校18回) が後任に決まりました。

総会後の昼食会では、美しい日本庭園を眺めながらおいしいお食事をいただき、時間を忘れて高校時代の思い出を語り合い、楽しいひとときを過ごしました。

東 京 胸 に 迫 る
篠 笛 の 音 色

支部長 坂本 瑞井 (高校14回)

平成三十年五月六日 (日)、今年も上野精養軒で第六十三回の総会を迎えることができました。毎年続けている母校への図書費の贈呈の後、比佐功校長先生並びに新任の同窓会長の紹介があり、議事に移りました。

総会に続く懇親会は約百八十名の参加があり、徐々に若い会員の参加が増えており、一段と華やかさを増した総会となりました。

高校13回卒の当番の方々のご努力で、アトラクションは篠笛奏者朱鷺たたら氏による篠笛の優雅な演奏でした。「コンドルは飛んでいく」に続く

年に先輩の地道な努力と思いがあり、発会いたしました。

総会は、三年に一度の開催ですが、年に一度は、ランチ会で顔を合わせています。

平成三十一年度は総会開催の年。縁あってこの地にお住まいの皆様、これからよろしくお願いいたします。ご連絡お待ちしております。

「みだれ髪」に震災後七年を経て、漸くふるさと、いわき復興が、地に足をつけて歩き出したことを想い、胸にジーンと迫るものがありました。来年の総会も五月六日を予定しております。



北茨城 高萩 先輩の想いを繋いで

支部長 太平 育子（高校9回）

本支部は、毎年六月の末日前後に総会、研修会、懇親会を開催しております。

今年は七月五日に「国民宿舎鶴の岬」にて実施致しました。再会を喜び合い、歌あり踊りありの楽しい会でした。会員数五七名ですが、ここ数年の参加者は二十名位です。ほぼ同じ顔ぶれで高齢化して

きておられますので、後輩たちが参加しやすいよう、会則を変え、更にしたしました。



支部

は、四家ケイ先生のご助言もあり、先輩たちの熱意から昭和六十三年に誕生しました。このような経緯から、後輩たちへこの思いを是非繋いでいって欲しいと願っています。まだまだ元気な会員の方々です。ので来年もまた楽しい会になる事と思います。

東海 桜丘会東海支部 創立三十周年を祝う

支部長 志賀恵久子（高校9回）

愛知・岐阜・三重・静岡県内在住の卒業生を会員とし、平成元年四月、十一名が集い「桜丘会東海支部」として発足し、今年創立三十周年を迎え、第二十回総会を六月に開

催しました。

名古屋の眺望が見事なレストラン「梨花」に十五名が集い、いわき市出身で、現在愛知芸術大学名誉教授として名古屋で活躍されている、ピアニストの永野美佐子さんをゲストとしてお迎えしました。

学んだときは違っても、母校への思いを語り合い、次の再会を期し、希望者は復元したばかりの名古屋城本丸御殿の見学へ向かいました。

少人

数ながら親睦旅行を楽しんでおり、若いが、増えないのが悩みのみです。



四倉 方部会を繋ぐ

方部長 高倉ケイ子（高校11回）

四倉方部会は昭和五十八年十一月に設立され、会員は当時

四六四名を数えました。そこには卒業生として母校への熱い思いがあった事と思います。

その後三十余年の歳月を経て会員も半数近くなり、かつて設立に対し奔走された先輩の思いをいかに次の世代へと伝えてゆかが今の課題です。

昨年の研修旅行は、明治記念絵画館と目黒雅叙苑へ行きました。幕末から明治への移行期、大政奉還や江戸無血開城など数多くの歴史的場面を描いた、この美術館ならではの絵画を鑑賞してきました。

方部会は、会報十六号の発行にむけて編集委員の方々が取り組んでいるところです。

繋い

でゆく・大変さ・を大切に考えてゆけたらと思っております。



小名浜 心を一つにして

方部長 新妻 彰子（高校19回）

小名浜方部は昭和六十年に発足し、三年に一度総会を開催しております。平成三十一年には第十二回総会を開催予定ですが、日時・内容等は未定ですが、この会報が発行される頃には決まっていると思います。多数の皆様のご参加をお願いいたします。会員の高齢化、会費納入の減少、若い会員への浸透等、課題が山積みですが、会員一同、心をひとつにして、小名浜方部の充実を図っていききたいと思っております。

平親睦の輪をひろげて

方部長 越智 春子（高校11回）

平成三十年の平方部総会は、二月三日（土）に出席者約百名で行い、その後、高齢化社会に於ける医療問題等の講演を聴き、学び合いました。本会では、発会の年と二年目は地元白水阿弥陀堂の紅葉を皆で愛で、三年目からは毎年秋の研修旅行を実施しています。

昨年は、「大谷資料館・大谷観音・藤城清治美術館」で、皆様の笑顔とともに楽しい一日を過ごすことが出来ました。今年は、山形方面で「川西ダリヤ園・民話の伝承館」などへ行って来ました。今回も、四十名の参加です。

また、四月十日の母校創立記念日には、毎年桜丘会館のお掃除と、母校の桜を見る集いを実施、昼食を一緒にして会員同士の交流を深めています。校長先生や皆様のご支援で益々充実して来ております。これからもお互い支え合いながら、ハッピーライフをめざし邁進してまいります。



第20回同期会 『傘寿を祝う会』

鈴木 敬子（高校8回）



平成二十九年七月「小名浜オーシャンホテル」に於いて、六十七名出席で『傘寿を祝う会』を開催。

第一回は、昭和四十七年（三十五歳頃）に平市民会館に一四七名の出席。その後四十五年間に二十回の同期会は、県内ではいわき（平・小

同窓生だより

名浜・湯本・勿来・四倉・好間（内郷）、会津、郡山、福島、県外では仙台、千葉、横浜、東京などで開催されました。

私達の年代は、小学低学年の時にあの壮絶な戦争の渦に巻きこまれ、また近年には有史以来初のM9を超える大地震と原発の事故を体験しました。山坂多い道の旅を経てきた乙女達も、今後は「八十歳の可愛いオバアちゃんになりました」と約束して散会しました。

古希の集い

鈴木 節子（高校18回）

古希を迎える歳となつて、卒業以来五十年振りの同期会を計画しました。準備に際しては心配ばかりでした。参加者数は勿論のこと、会の運営を手伝ってくれる人の数や当日のあれこれ、お互いの顔がわかるかという切実な問題まで難問山積のように思えました。ところが全て杞憂でした。平成二十九年二月五日、団

塊世代五四二名の卒業生のうち七十八名がいわきワシントンホテル椿山荘に集まりました。快く出席してくださった玉手会長の温かい励ましのご挨拶から、お喋りと笑いの時間が過ぎていきました。「あと何回か開けそうね」というおまけ付きの初めての同期会でした。



古希を祝う会

遠藤ふさ子（高校19回）

平成二十九年十月十四日、「十九回卒業生古希を祝う会」が開催されました。当日は会場の「グランパークホテル」

パネックスいわき」に九十五名の同期が集まり、ご出席下さった横田成都子先生、佐藤哲郎先生を囲み卒業以来五十余年の旧交を温めました。

二次会は「アトススペース・エリコーナ」に会場を移し、同期の清水（宮沢）せつさん、中川（若松）素直さんのショパンとサン・サーンスのピアノ演奏を楽しみました。

素晴らしい演奏の後、お茶やお菓子を頂きながらのお喋りに時を忘れる程でしたが、再会を期して散会としました。



万華鏡

— 光の贈り物 —

赤津 純子 (高校36回)

私は万華鏡作家です。万華鏡を発明したのはスコットランドの物理学者プリュースター博士。一七一六年、灯台の投光器の研究中二枚の鏡の前の蝋燭が円形に並んで見えたのが始まり。カレイドスコープ kaleidoscope (古代ギリシャ語の kalos 「美しい」、eidōs 「形」、scope は英語「見る器械」と名付けられました。わずか三年で江戸末期の日本にも伝わっています。万華鏡の対称形になぜ人は惹かれるのでしょうか。花の形? 生き物の目の印象? 不思議です。この、万華鏡の世界を伝えたくて、各地で講習会や展示会を開催しています。



平成29年度 研修旅行 小江戸川越への旅

勿来方部 馬場 洋子 (高校23回)

平成二十九年の研修旅行は、六月七日に徳川家ゆかり

の「喜多院」と小江戸「川越」散策の旅でした。四十二名の参加で、曇りの過ごしやすいい日でした。

往路は、会長挨拶・勿来方部代表挨拶・参加者の自己紹介後にビンゴゲームを楽しみました。

静寂を湛えた喜多院は、堀や池を巡らせた境内に、様々な表情の五百羅漢の石像が並ぶ寺院。二一〇〇年の歴史の重さを感じながら参拝しました。

昼食は名物のさつま芋料理を楽しみ、蔵造りの街並み・時の鐘・菓子屋横丁などの散策。復路は吹奏楽部の定演の録画を鑑賞しました。

徳川家の信仰が厚かった喜多院の

隆盛と、

それに

伴い栄

えたで

あろう

川越の

街並み

に思い

を馳せ

る旅と



恩師・同窓生著作紹介 (寄贈されたもののみ)

『中世鷹飼の春秋』

『歌集 時花』

『記憶の街』

山名 隆弘 (恩師)

高木 敏子 (高女34回)

河原八重子 (高校4回)

『伝える それぞれの3・11……その後』

佐藤 雅子 (高校17回)

『夜の森 句集』

駒木根淳子 (高校23回)

『第二回 海の俳句全国大会特選・入選作品集』

今越 祐子 (高校27回)

『トントンのようちえん』他 大内 有子 (高校29回)

いわきを元気に!!

海が繋ぐ文化

今越 祐子 (高校27回)

二十代の頃より民俗学と俳句を続けており、仕事と俳句では山崎祐子がペンネームで

す。二〇一一年に磐女時代の恩師、山名隆弘先生とプロジェクト傳という無形文化財の継承を支援する団体を立ち上げました。

また、二〇一六年からアクアマリンふくしまで、「復興いわき海の俳句全国大会」を開催しています。季語と暮らす毎日楽しいですよ。日常の喜び、旅の思い出を一句に残すと、写真やビデオよりも生き生きとした感動がよみがえります。皆さんもいかがですか。(ホームページ <https://www.uninohaiku.com>)

なんてったって学友

佐藤 敦子 (高校25回)

「いわき」で暮らした倍の年月を東京で過ごし、すっかり「いわき」を忘れていました。二〇一一年三月十一日、突然『故郷いわき』のバックラッシュ。地震と津波が大地を破壊し、放射能が空気を汚

し、故郷が無くなるのではとの悲痛な思い。その時、再会した同窓生と「何かしなくては!」と義援金を集めて、いわき市に届けました。輩は、十八歳、昔と同じ、「正しく、強く、朗らか」校歌そのまま。「いわき」と繋がり、寄り添っていきこうと「いわきと都市を結ぶ文化交流実行委員会」を

立ち上げ、人間国宝の野村四郎先生の能公演を二〇一七年八月十二日アリオスで行いました。また、二〇一八年九月二十七日には、桜が丘高校文化講演会で、野村四郎先生に講演をしていただきました。あれから七年、同窓生との繋がりも広がり、母校の伝統に深く感謝しております。

音楽の溢れる街に

熊谷 紀子 (高校31回)

「街中の人が歌ってたらステキだなあ。」私達の活動に想いを寄せてくれた方からの一言。そんな未来の風景を描き「いわきフレンズ」はい

わき市に縁のある音楽家達と故郷への強い思いを胸に震災後から活動をスタートしました。「うたの講座」はソロから合唱、オペレッタまで、「音楽の隠れ家」「わくわくアンサンブル講座」では、チェンバロなど古楽器に耳を傾けな

がら共に音楽を創ります。音楽やダンスが日常生活と心の豊かさの支えとなるよう、専門家と若手が力を合わせリードし、いわきの子どもから大人まで、誰もが楽しく参加できる講座を行なっています。

母校このごろ

全国大会

放送局

長野総文祭

三年 松尾 優真

八月上旬に全国高校総合文化祭に参加した。今年の長野大会はいつもと違い、現地で取材をして作品を作るという課題が出た。郡山高校と共同で、四十八時間で下諏訪町のシャッター街の商店をPRするCMを作らなければならぬ。オルゴールのお店など数店を取材してもらい、侃々諤々の議論の末、やっと完成させることができた。残念ながら一位を獲得することはできなかったが、大変有意義な時間を過ごすことができた。

高校生活全てを

懸けた夏

三年 鈴木ひとみ

私達放送局は六月の県大会を突破し第六十五回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会の出場権を獲得した。ア



ナウン ス・ラジオ オドキュ メントの 二部門に 出場する ことと なった。 三年生に とってはこれが最後のNHK 杯となる。私達には入部当初 から掲げてきた目標がある。 全国優勝。どんな時にも揺る がず、この目標に向かって頑 張ってきた二年半だった。 アナウンスは本校の剣道部 の取材をまとめたものを、ラ ジオドキュメントは不登校を テーマにした作品を披露した。 結果はアナウンス準々決勝 敗退、ラジオドキュメント全 国五位。悔しいが、やり切っ た夏だと思う。

私達はたくさんの方々に支 えられ活動してきた。だから 全力で放送活動に打ちこむこ とができた。この場をかりて 深く感謝申し上げたい。後輩 達が放送局の良い伝統を引き

継ぎ、さらに発展させてくれ ることを願い、次の世代へバ トンを渡したいと思う。素晴 らしい時間をありがとうございました。

ソフトテニス部

二度目のインターハイ

三年 高橋 修平

僕は、八月三日から六日ま で三重県鈴鹿市で開催された 平成三十年全国高等学校総 合体育大会男子個人戦に佐藤 拓斗君とペアで出場してきま した。去年は大雨の中での試 合でしたが、今年は、灼熱の 太陽と熱風が吹く中での試合 でした。相手との戦いに加え て、水分をこまめにとること や日陰でアップをすることな ど、自分たちの体調面との戦 いでもあったと思います。試 合では、去年の福島インター ハイの経験があり、緊張せず にできました。結果は一日目 の三回戦で中京高校に四対二 で勝ち、二日目に残り、二日 目の一試合目で富山工業に四 対〇で負けて、ベスト64で終 わりました。結果はあまり満 足していませんが、悔いを残

さず引退できたのでよかったです。 次は、大学受験があります。 第一志望校合格を目標にがんばりたいと思います。



充実した夏休み

人々のあたたかさ

二年 金成 李胡

今回、日本・ベラルーシ友 好訪問団の一員に参加しまし た。海外に行くのが初めてで 不安ばかりでしたが、アシス タントとして入られた現地の 大学生の方々のお陰で安心し て活動できました。原発事故 を実際に経験した人の講話や 当時の国の活動、今の現状な ど福島復興に役立てられる ことを多く学びました。また、 現地の子供たちなど多くの方 との交流では、言葉は通じな いけれど気持ちでつながれる ことを実感しました。各班の プレゼンテーションでは、現

地の方に福島・日本を伝える ことができ貴重な経験ととも に福島を見つめ直す機会にも なりました。実際に行って感 じた笑顔 や努力、 感謝の大 切さ、今 を伝える ことを忘 れずに今 後にいか していき ます。



コミュニケーションの

楽しさを実感

二年 鈴木 郁乃

七月「コカ・コーラ英語コ ミュニケーションスキル研修 プログラム」に参加しました。 留学生達と会話やゲーム、 プレゼンテーションなど様々 な活動をして楽しかったです。 英語オンリーで対応する機 会は私にとって貴重な体験で した。なかなか英語で表現で きなかったり聞き取れなかつ た時、うまく引き出したり違 う表現で分かりやすく話した りしてくれて、英語への苦手 意識や戸惑いを取り除きなが ら進めてもらい、普段の授業

二年 荒川瑛里衣

部活動

演劇部
長谷川詩音

定期演奏会

合唱部
遠藤 小雪

吹奏楽部
渋川みのり

定期演奏会

合唱部
遠藤 小雪

進路状況

進路状況		国公立大学		私立大学合計		専門学校 (看護をのぞく)		公務員		就職	
高崎経済大学	0	4	2	0	0	0	0	0	1	35	17
前橋工科大学	0	2	1	0	0	0	0	0	1	37	13
首都大学東京	0	1	1	0	0	0	0	0	7	2	35
横浜市立大学	0	1	1	0	0	0	0	0	7	2	35
国公立大学合計	49	53	0	0	0	0	0	0	7	2	35
早稲田大学	0	1	0	0	0	0	0	0	7	2	35
青山学院大学	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	35
津田塾大学	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	35
中央大学	3	0	3	4	1	3	3	3	7	2	35
法政大学	4	1	4	3	2	3	2	2	7	2	35
明治大学	3	2	3	2	2	2	2	2	7	2	35
立教大学	2	1	2	2	1	2	1	1	7	2	35
東北学院	1	1	1	1	1	1	1	1	7	2	35
東北福祉大学	1	2	1	1	1	1	1	1	7	2	35
いわき明星大学	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	35
東洋大学	2	1	2	1	1	1	1	1	0	1	35
日本大学	4	15	4	4	4	4	4	4	7	2	35
専修大学	4	11	4	4	4	4	4	4	7	2	35
駒澤大学	3	9	3	3	3	3	3	3	7	2	35
千葉工業大学	7	11	7	7	7	7	7	7	7	2	35
新潟医療福祉大学	6	10	6	6	6	6	6	6	7	2	35
東海大学	5	10	5	5	5	5	5	5	7	2	35
東京家政大学	3	8	3	3	3	3	3	3	7	2	35
国際医療福祉大学	10	10	10	10	10	10	10	10	7	2	35
白鷲大学	7	8	7	7	7	7	7	7	7	2	35
私立大学合計	386	347	6	6	6	6	6	6	7	2	35
公立短期大学	6	10	6	6	6	6	6	6	7	2	35
私立短期大学	10	8	10	10	10	10	10	10	7	2	35
高等看護学校	22	9	22	22	22	22	22	22	7	2	35
専門学校	7	15	7	7	7	7	7	7	7	2	35
公務員	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	35
就職	2	7	2	2	2	2	2	2	0	1	35

105 回総会報告

勿来方部 瀬谷 幸子 (高校 10 回)

平成二十九年度桜丘会総会は、一五九名の会員の皆様の参加を頂き、四月二十九日、いわき市植田町の「やまたまや」にて開催されました。玉手会長の挨拶に続き、定例の議事が承認されました。その後、議事「桜丘会会則の変更」が上程され、会長の説明の後、賛成多数で承認されました。

第二部では、校長先生、新任の先生方の代表、来賓代表のご挨拶がありました。懇親会では、会員の声楽家、渡辺裕美子 (高校 23 回) さんのミニコンサートが開かれ、ソプラノ独唱で五曲が披露されま



した。ピアノ伴奏は近藤智重 (高校 33 回) さんで、息の合った演奏が見事でした。その後、支部代表による近況報告がありました。楽しいひとときを過ごした後は、全員で校歌を合唱しました。和やかな余韻の中、会は幕を下ろしました。

◎桜丘会会則の一部変更

第八条 役員の任期
役員の任期は、二ヶ年とし、再任を妨げない。ただし、五期十年までとする。

部が付加されました。

106 回総会報告

鈴木みどり (高校 28 回)

平成三十年度桜丘会総会は四月二十九日グランパークホテルパネックスいわきにて、恩師、来賓の方を含め一三八名の参加を頂き、終始楽しい時間を過ごしました。第一部は物故者への黙祷、玉手会長の挨拶、議事のあと昨年度変更になった会則に基づく役員の改選がありました。第二部は比佐功校長、各支部長の挨拶に続き来賓の紹介、来賓を代表して釜野井真一先生に挨拶を頂き、理事の紹介、根本良政先生の乾杯のご発声で懇

親会が始まり、ビンゴゲームで最高に盛り上がりました。料理もとてもおいしく、最後に母校の DVD を鑑賞し校歌を斉唱して閉会しました。



2019年度 総会のお知らせ

と き 2019年4月29日(月) 10:00 ~ 14:00
ところ スパリゾートハワイアンズ ラピータ
☎0246-43-7722
内 容 総会・懇親会
会 費 5,000円
問い合わせ 事務局 ☎0246-25-9101
(磐城桜が丘高校)

平成30年度・31年度
新役員紹介

◆役 員

会 長 坂本 洋子 (高校 19 回)
副会長 薄葉フミ子 (高校 15 回)
菅波八重子 (高校 20 回)
井戸川保子 (高校 25 回)
伊藤いづみ (高校 33 回)
野地みゆき (高校 22 回)
松崎 順子 (高校 22 回)
顧 問 玉手 匡子 (高校 13 回)

◆校内理事

理事長 高橋真由美 (高校 37 回)
理 事 高木 美枝 (高校 29 回)
佐藤 裕子 (高校 44 回)
喜多見晃子 (高校 45 回)
鈴木 理恵 (高校 48 回)
竹中 睦 (高校 50 回)
上 居 祥人 (高校 62 回)
榎田 俊介 (高校 66 回)

◆校外理事

京極三智子 (高校 18 回)
菅波アイ子 (高校 18 回)
阿部 都 (高校 19 回)
諸橋 良枝 (高校 22 回)
加藤 昌子 (高校 26 回)
越智 春子 (高校 11 回)
(平方部会長)
高倉ケイ子 (高校 11 回)
新妻 彰子 (高校 19 回)
(四倉方部会長)
(小名浜方部会長)

編集後記

新体制となった最初の会報発行に当たり、還暦を迎えた私達 (高校 29 回) が主に編集に携わりました。初めての紙面作り、さらに今回から大きな A4 版に変わったため、レイアウトに苦慮しながらの作業となりました。

「支部、方部だより」「同窓会だより」では、にこやかな表情の写真が並びました。

平成十三年に共学となった母校の近況も生き生きと綴られており、若い会員の方達にとっても親しみある紙面になっていると思います。

お忙しい中原稿をお寄せくださいました皆様、心より感謝申し上げます。

高沢 浩子 (高校 29 回)

お願い

同窓生の住所の変更、お亡くなりになった方の情報を、同窓会までお知らせ下さい。

編集委員

委員長 高沢 浩子 (高校 29 回)
委 員 鈴木みどり (高校 28 回)
岩谷 暁子 (高校 29 回)
小松 祐子 (高校 29 回)